



第23回

住まいのリフォームコンクール作品展



(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター

企画賞 鹿児島県式「シラス」を用いた屋根材



この家は、伝統的な「シラス」を用いた屋根材を採用し、自然素材の魅力を最大限に引き出した。また、断熱性能を向上させ、快適な居住空間を実現している。

リフォーム内容
 屋根材の交換、断熱材の追加、内装のリフォーム、設備の更新など。

| 項目 | 内容 |
|--------|---------|
| リフォーム前 | 築年数 30年 |
| リフォーム後 | 築年数 30年 |

理事長賞 STYLE Reform 一層られたマンションの空間を、明るく開放的に



このマンションは、築年数が経過し、空間が狭小で暗く閉塞感を感じていました。リフォームにより、開放的で明るい空間を実現し、住居性を大幅に向上させました。

リフォーム内容
 内装のリフォーム、照明の追加、収納の増設など。

| 項目 | 内容 |
|--------|---------|
| リフォーム前 | 築年数 15年 |
| リフォーム後 | 築年数 15年 |

企画賞 家cafe気分



この家は、カフェのような開放的な空間を実現し、家族のコミュニケーションを促進しています。

リフォーム内容
 内装のリフォーム、家具の購入など。

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム前平面図

設計施工のポイント（増改築等の工夫）

リフォーム後平面図



- ①リフォーム目的
古いマンションをご夫婦仕様を使い勝手よくするリフォーム
- ②明るさへのこだわり
ダイニングキッチンとリビングの間仕切壁を撤去し、明るく開放的に。リビングの間仕切壁は斜めにすることでより広く使えるようにしました。
- ③空間（意匠）へのこだわり
構造上、天井に出てくる梁や室内用の給湯器は天然木を使って目隠し。木のぬくもりのある暖かい空間をつくりました。
- ④収納へのこだわり
ウォークインクローゼットの位置を生活の中心部分に配置。主な通路と寝室から出入り出来るようにし、使い勝手よくしました。（用途にあわせて）キッチンは整理しやすい家電収納。
玄関は広めの下駄箱。洗面所は棚を造作。



| 応募者 | 設計者 | 施工者 | 築年数 | 構造 | 建方形式 | 竣工 | 工事期間 | 工事費 | リフォーム内容 |
|----------|----------|----------|-----|----------|------|---------|------|-------|------------|
| すまいる城西川野 | すまいる城西川野 | すまいる城西竹森 | 36年 | 鉄筋コンクリート | 共同住宅 | 平成25年3月 | 50日間 | 591万円 | マンションリフォーム |

鹿児島県知事賞：「20年目の省エネ・創エネ・健康リフォーム」

築20年のRC造住宅を大規模改修し、快適性の向上を図るとともに、太陽光発電と高効率設備によるゼロエネルギー化に取り組んでいます。また仕上げ材や接着材に自然素材を用いるなど、健康にも配慮されています。工事費が高額になっていますが、外断熱と窓の高性能化による高断熱化や、太陽熱利用の暖房・給湯・換気設備の導入、県産のスギ無垢材の使用など徹底しており、金額に見合った価値あるリフォームになっています。細部についても良く考えられており、質の高さが評価されました。

(財)鹿児島県住宅・建築総合センター理事長賞：「STYLE Reform ～限られたマンションの空間を明るく開放的に～」

築36年のマンションのリフォームです。マンションは改修が難しいというイメージを持っている人が多いですが、古いマンションでもここまでリフォームできることを示した優れた作品です。生活動線を考えて収納スペースが工夫されており、使い勝手が良さそうです。また室内に天然木を使うことで暖かみを演出しています。マンションのリフォームの可能性を示した点が評価されました。

企画賞：「鹿児島の宝「シラス」を用いた屋根材」

石綿スレート屋根を、軽量で断熱性に優れたシラス瓦に改修しています。スレート屋根の建物は、設計時の屋根重量が小さいため、その改修には耐荷重の制限があります。この住宅では軽量のシラス瓦を用いることで、屋根に表情を持たせるとともに、断熱性の向上も図っています。屋根シラス瓦は鹿児島県で開発された瓦です。地元の建材を活用している点や、安全に配慮した石綿の除去工事が行われている点が評価されました。

企画賞：「家 cafe 気分」

キッチンとリビングダイニングのリフォームです。壁で仕切られたキッチン周りの空間は閉鎖的な雰囲気になっていたようですが、リフォームで壁を取り払った事で、明るく開放的な空間に生まれ変わっています。構造上の制約で、柱と筋交いは残っていますが、それをデザインの一部として見せることで開放性を持たせることに成功しています。大きなリフォームではありませんが、施主さんの希望を実現した優れた事例です。

企画賞：「ずっと、快適に、かっこよく ～S邸刷新計画」

築30年の鉄骨造住宅のリフォームです。バリアフリーや断熱改修などの機能面だけでなく、空間構成や外構工事も含めクオリティーの高さが評価されました。施主さんとの打ち合わせ回数も多く「施主さんの要望をできるだけ反映させた」という言葉に説得力があります。空間にゆとりが感じられ、大規模改修の優れた事例として選出されました。

奨励賞：「夫婦で穏やかに暮らす 終の棲家」

終の棲家として購入した築30年の中古住宅のリフォームです。老後の暮らしを考えて、水周りの使い易さや快適性の向上に配慮されています。また広いLDKを設けることで明るく開放的な空間になっています。コストは抑えつつ、長く暮らしてゆくために必要な改修はしっかり行っています。古い中古住宅の活用例として参考になります。

賞状

理事長賞

「STYLEReformsに限られた
マンションの空間を、明るく開放的に」

住まいる城西

川野 泰代 殿

あなたは公益財団法人鹿児島県
住宅・建築総合センター
主催による第二十三回住まいの
リフォームコンクールにおいて
頭書の成績をおさめられた
のでこれを賞します

平成二十五年十月二十七日

公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センター

理事長 若松隆雄

